

# 「心臓 PET と心電図所見・合併症の検討」に対するご協力 のお願い

研究代表者 中原 健裕  
研究機関名 慶應義塾大学医学部  
(所属) 放射線科学教室（診断）

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

## 1 対象となる方

西暦 2020 年 1 月 1 日より 2025 年 8 月 31 日までの間に、名古屋共立病院・名古屋放射線診断クリニックにて心臓 PET 検査を受けた方

## 2 研究課題名

承認番号 20251147

研究課題名 心臓 PET と心電図所見・合併症の検討

## 3 研究組織

研究代表機関	研究代表者
慶應義塾大学医学部	特任講師・中原健裕
共同研究機関	研究責任者
名古屋共立病院	大島 寛
既存試料・情報の提供のみ	機関の長
名古屋放射線診断クリニック	西尾正美

## 4 本研究の目的、方法

心電図は心筋の電氣的信号を反映し、誘導に近い心筋と遠い心筋（例えば、前壁と後壁）の電気信号の違いからそれぞれの波が形成されます。その変化、とくに ST 上昇の誘導から急性心筋梗塞の部位を診断でき、狭窄・閉塞している冠状動脈を把握できます。しかし、心筋虚血の場合は、ST

が低下している誘導から虚血責任冠動脈を推定することは難しいとされています。なぜ「心筋虚血の部位にかかわらず、ST 低下が V4～V6 誘導を中心に認められるのか」については、正確な機序は明らかではありません。

一方、心筋血流 PET では心筋の各部位の血流を定量評価できます。また同時に撮影する CT との fusion 画像により、胸壁から見た心筋壁の位置を把握できます。

なぜ「心筋虚血の部位にかかわらず、ST 低下が V4～V6 誘導を中心に認められるのか」については、我々は心筋部位毎の血流のバランスが原因仮説を立て、心筋の心電図との心筋の各部位の血流の違いを比較することで原因解明の一助としようと考えております。

## 5 協力をお願いする内容

本研究では心臓 PET、CT 検査を施行する際に得られた既存のデータのみを使用させていただくため、新たな身体的負担はありません。

研究を行う上で、診療録を閲覧させていただく必要がありますが、本研究で収集する情報は本研究に関連すると考えられる情報に限られます（主に CT 撮影に必要な情報、心電図波形、血圧や身長・体重、既往歴・治療歴・採血検査結果といったカルテの記載内容です）。この研究により得られた結果は国内外の学会や論文により発表、公開する予定です。

プライバシーの保護については、本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。また、本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第 3 者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。患者さんの個人情報と、匿名化した診療情報を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。

本研究に関して開示すべき利益相反事項はありません。

## 6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2027 年 3 月 31 日

## 7 外部への試料・情報の提供

ありません。

## 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、試料・情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

研究責任者：慶應義塾大学医学部放射線診断科 中原健裕（ナカハラ タケヒロ）

連絡先：03-5363-3837（平日 10-17 時）

以上